学校番号	２１４

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	世界史探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「世界史探究」　（実教出版）						
副教材等	NEW・STAGE　世界史詳覧（浜島書店編集部）　世界史用語集（山川出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現在の社会は過去の延長線上にある。過去の歴史が現在にどのような影響を与えているのかを考え、「何故」か、「どうすればよいのか」を歴史の面からも考察してほしい。そのためにも、歴史上の人物の生きざまにも興味をもって学ぶ、深掘りする習慣をつける。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
世界的な諸問題について、歴史的な事象を捉え、問題解決への糸口を手繰ることができる。
【思考力、判断力、表現力等】
　現代の諸課題を、多面的に考察し、意見を表明したり議論したりすることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
　グローバル化する国際社会の中で大勢に流されず、自分で考えるとともに議論を深め、主体的に生きる公民としての資質・能力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界各国の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	各国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	各国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい世界の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される世界市民としての自覚、各国の歴史に対する理解、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	古代文明	1 農耕と牧畜の始まり 2 オリエント文明 3 インダス文明 4 中国文明	c 人類が自然環境に適応しながら進化し、農耕・牧畜を基礎とする諸文明を築き 上げたことに気づくと同時に、人類と言語の分化を理解しようとしている。 a 西アジア世界の地理的特質を把握し、オリエント文明の盛衰、イラン人の活動 を理解している。 c 中国文明の起源(殷・周の成立から秦・漢帝国の動向)文明の成立と発展、独自の宗教・社会制度など、アジア世界の形成過程を理解し、現代との関連をとらえようとする。	定期考査	レポート 定期考査	グループワーク
	東アジアと中央ユーラシア	1 春秋・戦国時代の変動 2 中国古代帝国と東アジア 3 中央ユーラシアの国家形成 4 胡漢融合帝国の誕生	b 東アジアにおける北方遊牧民の動向と、三国時代から魏晋南北朝という中国の 分裂と動乱の時代を理解し、表現できる。 c 内陸アジアの地理的特質を把握し、台頭した遊牧民とその国家の動向を、オア シス民の活動とともにとらえようとしている。 a 隋唐帝国の国家制度や文化、日本を含む東アジア世界諸国の国家体制の整備や その動向を理解している。			

2学期	南アジアと東南アジア	1 インド古典文化の形成 2 古代の東南アジアと 海のシルクロード	a インド・東南アジア の地理的特質を把握し、それぞれの文明の成立と発展、独自の宗教・社会制度など、アジア世界の形成過程を理解しようとしている。 b 東南アジアの地理的特質を把握し、中国との関連を含め現代とのつながりを考えようとしている。 C 各地域の歴史が他地域の文化に影響を与えながら現在の生活にもつながっていることを理解しようとしている。	定期考査	レポート 定 期 考 査	グループワーク
	西アジアと地中海周辺	1 オリエントの統一 2 ギリシア文明 3 ヘレニズム時代 4 ローマ帝国 5 西アジアの国々と諸宗教	b 地中海一帯の地理的特質を把握し、エーゲ・ギリシア・ヘレニズム各文明の特徴をとらえ、表現している。 a 都市国家から大帝国の発展したローマ文明の特質を理解している。			
	西アジア・地中海の変動	1 ビザンツ帝国と ギリシア正教圏 2 イスラーム圏の成立	a イスラーム世界成立の背景とその特質、アラブ人による発展とイスラーム帝国 の形成を理解している。 C 日本では比較的馴染みの薄いイスラーム教徒の生活様式を知り、かつ理解しようとしている。			

3学期	ヨーロッパの形成　イスラーム圏の拡大とヨーロッパ社会の変容	3ラテン＝カトリック圏の形成と展開 1イスラーム圏の多極化と展開 2 ラテン＝カトリック圏の拡大	b　地中海世界解体後、ヨーロッパ世界が東西に分かれ、ゲルマン人移動後の西ヨーロッパでは、外部勢力との対抗の中で封建社会が形成されていったこと理解し、表現できる。 cイスラーム世界成立の背景とその特質、アラブ人による発展とイスラーム帝国 の形成を理解し、現代との関連を考えようとしている。 bインド・東南アジア・アフリカのイスラーム化等、イスラーム世界の拡大の過程を理解し、その伝播の要因を考えようとしている。 aイスラーム文明の特質とその影響、学問と文化活動の内容、イスラーム都市を 中心としたネットワークの役割を理解している。	定期考査	レポート 定 期 考 査	グループワーク

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度